

第9回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善山梨県地方協議会(*)が開催されました

標記地方協議会が、平成30年3月19日(月)に自動車総合会館で開催されました。木幡山梨労働局長は、会議冒頭のあいさつで、

○実証実験の成果の評価と次年度の取組を見据えた議論

○運送業界における働き方改革を発信する山梨地方協議会の取組をお願いしました。

(*)長時間労働や荷主都合で発生する手待ち時間など、トラック運送業における問題解消を図るため、平成27年度から30年度にかけて、輸送実態の調査、パイロット事業(=問題の改善策の実証実験)及び長時間労働改善ガイドラインの策定等を行う荷主・トラック運送事業者・労使団体・関係行政機関をメンバーとする協議会



協議会には山梨県中央市の食品工場から千葉県各地の運送先へのトラック輸送における実証実験の成果として、

○発荷段階で、荷主側の作業として、運送先別・荷の種類(冷蔵品と常温品)別にきっちり仕分けし、トラック運転手の仕分け作業を軽減した結果、積み込み作業時間が平均76分から63分と18%短縮できたこと。

○長時間運転となっていた配送先を他の運送事業者に委託する等の配送ルートのも最適化の結果、長時間運転の解消が図られたこと。
が報告されました。

なお、30年度の山梨地方協議会は、30年度開催の中央協議会を受けて開催される予定です。